

# Shell Stamina EP Grease

## シェル スタミナ EP グリース

### - 高性能耐熱・長寿命・極圧グリース -

シェルスタミナ EP グリースは、高度に精製した高品質の鉱油をベースに、特殊ウレアを増ちょう剤とするグリースです。

シェルスタミナ EP グリースは、厳選された極圧剤を含む各種添加剤を配合した高級極圧グリースで、高温高荷重で使用されるころがり軸受、すべり軸受等だけでなく、圧延のロールネック軸受や、熱間圧延等の水混入の恐れがある軸受等厳しい潤滑条件下で優れた性能を示します。

シェルスタミナ EP グリースは、ギヤードモーター等の減速機では、機械の寿命延長、低騒音化がはかれます。

使用温度範囲： -20 ~ +180

### シェルスタミナ EP グリースの特徴

#### 1. 耐熱・長寿命グリースです

シェルスタミナ EP グリースは、耐熱性、酸化安定性にすぐれていますので、高温時においても長寿命グリースとして給脂量の削減が可能です。

#### 2. 耐摩耗性が優れています

シェルスタミナ EP グリースは、潤滑性が極めて良好で耐摩耗性に優れていますので、機械寿命の延長が期待できます。

#### 3. 耐荷重性能が優れています

シェルスタミナ EP グリースは、厳選した極圧添加剤を配合していますので、圧延機等荷重条件の過酷な潤滑箇所でも、優れた潤滑性能を発揮します。

#### 4. 耐水性が優れています

シェルスタミナ EP グリースは、耐水性がすぐれていますので、水が混入しても潤滑性能を維持し、かつ軟化も小さく、シール性やチャネリング特性も良好です。

#### 5. 機械的安定性が優れています

シェルスタミナ EP グリースは、機械的安定性が優れていますので、低温から高温まで過酷なせん断を受けても、ちょう度変化が少なく、水の存在下でのせん断安定性も極めて良好です。

#### 6. 防錆性が優れています

シェルスタミナ EP グリースは、防錆性が良好で、過酷な条件下でもさびの発生を防ぐ効果があります。

#### ( ) 適正ちょう度の選定

集中給脂方式	シェルスタミナ EP グリース 0, 1
手塗り、プレッシャガン、グリースカップ、密封方式	シェルスタミナ EP グリース 1, 2

シェル スタミナ EP グリース 代表性状						
試験項目		試験方法	シェル スタミナ EP グリース 0	シェル スタミナ EP グリース 1	シェル スタミナ EP グリース 2	
増ちょう剤			ウレア	ウレア	ウレア	
外 観			淡黄色	淡黄色	淡黄色	
原料 基油	タイプ		鉱油	鉱油	鉱油	
	動粘度 mm <sup>2</sup> /s	@40	JIS K 2283	190	220	220
		@100		17.5	15.5	15.5
混和ちよう度		JIS K 2220 7.	368	317	270	
滴 点		JIS K 2220 8.	247	266	265	
蒸発量 (99 ×22h) wt%		JIS K 2220 10.	0.1	0.2	0.3	
離油度 (100 ×24h) wt%		JIS K 2220 11.	5.7	1.6	0.6	
10万回混和安定度		JIS K 2220 15.	432	373	350	

\* 代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。 (2017-11)

シェル スタミナ EP グリース 0 の販売荷姿 : 180 kg ドラム, 16 kg ペール  
 シェル スタミナ EP グリース 1 の販売荷姿 : 180 kg ドラム, 16 kg ペール, 400 g ×20  
 シェル スタミナ EP グリース 2 の販売荷姿 : 180 kg ドラム, 16 kg ペール, 400 g ×20

## 使用上の留意点

- ・給脂の際、機械の給脂口をきれいにし、新しいグリースを補給してください。出来るだけ機械を無負荷で運転しながら古いグリースが排出口などから出つくし、新しいグリースが出て来るまで十分に給脂してください。
- その後は、機械メーカーの指示を十分考慮し、定期的に給脂してください。
- ・石けん基の異なるグリースを混ぜると、性能低下がおこりますのでご注意ください。なお、同じ石けん基グリース同士の場合でも性能低下がおこることがありますので、異なる銘柄の混合使用はさけてください。
- ・グリースはゴミなどのコンタミネント(汚染物)が混入すると、取り除くことができません。
- そのまま使用した場合、軸受、ギヤなどの異常摩耗、破損の原因となりますので取扱いに十分注意するとともに容器の蓋をよく締め、直射日光のあたらない場所(屋内)に保管してください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合がございます。製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルプカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



## 取扱上の注意

下記の注意事項に従ってお取扱いください。

取り扱い上の注意	
【安全対策】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。</li> <li>・取り扱う際は保護具を使用すること。</li> <li>・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。</li> <li>・無理に吐かせないこと。</li> </ul>
【応急措置】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。</li> <li>・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。</li> <li>・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。</li> </ul>
【保管】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。</li> <li>・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。</li> </ul>
【廃棄】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</li> <li>・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。</li> </ul>

Rev.1.2017.11.1